

兵庫ゆずりあい駐車場制度

～一人ひとりのゆずりあいの心～

公共施設やスーパーマーケットなどに設けられている「兵庫ゆずりあい駐車場」や「車いす」マークの駐車スペースをご存じですか。

兵庫県ではこの駐車スペースを適正に利用いただくため、障害のある方などに「兵庫ゆずりあい駐車場」の利用証を交付しています。利用が必要な方は利用証の交付を受け、駐車時には必ず掲げるようにしましょう。

利用証の交付は、必要書類をご持参の上、社会福祉課で手続きをお願いします。

■申請・問合せ

社会福祉課（市役所内線262・263）



Miraieには複数の「ゆずりあい駐車場」を確保

■利用証は下記の基準に該当し、歩行が困難な方に交付します。

交付対象者		必要書類
視覚障害	1～4級	身体障害者手帳
聴覚障害	2・3級	
平衡機能障害	3・5級	
肢体不自由	上肢 1・2級	
	下肢 1～6級	
	体幹 1・2・3・5級	
乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	上肢機能 1・2級	
	移動機能 1～6級	
心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこうまたは直腸の機能障害、小腸機能障害	1・3・4級	
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害	
知的障害者	障害程度Aの者	療育手帳
精神障害者	障害等級1級の者	精神障害者保健福祉手帳
難病患者	特定医療費(指定難病)受給者 小児慢性特定疾病医療受給者	特定医療費(指定難病)受給者証 小児慢性特定疾病医療受給者証
高齢者等	要介護状態の区分が要介護1・2・3・4・5の者	介護保険被保険者証
妊産婦	母子健康手帳取得の者	母子健康手帳
傷病人	医師の診断書等において「歩行が困難」である旨の記載のある者	医師の診断書・意見書等 身分証明書(保険証等)
その他歩行が困難な方	知事が認める者	県障害者支援課にお問い合わせください ☎078-362-4379 ☒078-362-9040

◆分別しないと、もったいない！
ごみを分別すれば資源として再生利用できるだけでなく、燃やすごみの量が減り、焼却に必要な費用を抑えることができます。また資源として専門業者に買い取ってもらったことで収入を得ることが出来ます。



正しい分別を行い、みんなでごみの資源化に取り組みましょう！

◆再生利用可能な資源とは
家庭から出るごみのうち、再生利用可能な資源はたくさんあります。みどり園で収集した「容器包装プラスチック」「ペットボトル」「ビン類」「金属類」などは専門業者に引き渡すことで、資源として再利用できます。そのためには、ごみを出す段階できちんと分別することが必要不可欠です。

◆正しい分別に取り組みよう
ごみの捨て方に悩まれている方はいらっしゃいませんか。分別の判断が難しい場合は、みどり園(☎23,2808)または市役所環境課へお問い合わせください。また、多くの方にごみの減量・分別を学んでいただくため、自治会ごとに「ごみの減量・分別説明会」を実施しています。ぜひご参加ください。

第5話 ～ごみの分別～

ごみダイエット通信

■環境課 (☎22-3111)

ごみを分別することで、再生利用可能な資源が増えます。

て焼却や埋立で処理することになり多くのお金がかかります。これは大変、もったいないですね。

2020 東京オリンピック・パラリンピック 西脇市がホストタウンに決定!

オーストラリア卓球チームが市内で事前合宿

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、西脇市は昨年12月に国が推進する「ホストタウン」事業に登録され、オーストラリアを相手国として卓球チームの合宿招致活動・交流計画を進めてきました。

され招致には厳しい戦いとなりましたが、西脇市の思いが届きオーストラリア卓球チームの招致が実現することとなりました。

今後の取り組み

7月26日、西脇市はオーストラリア卓球協会から事前合宿地を「西脇市に決定した」との報告を受けました。今年3月には他県の自治体も誘致活動を行うことが発表

卓球代表選手団の事前合宿の受入のほか、ホストタウンとしてオーストラリアとの国際文化交流の推進や市民の皆さんが東京オリンピック・パラリンピックを肌で感じられるようなイベントを行う予定です。



豪州卓球代表候補選手を出迎え



代表候補 ケーン・タウンゼント選手



代表候補 ウエイド・タウンゼント選手



片山市長が豪州で西脇市をPR

◆問合せ 生涯学習課(総合市民センター内) ☎22-5996

◆問合せ 生涯学習課(総合市民センター内) ☎22-5996

決定までの歩み	
平成28年12月	ホストタウン登録決定
平成29年4月	オーストラリア卓球代表候補選手視察・受入(4月7日～9日)
5月	在大阪オーストラリア総領事館へ陳情(5月1日)
	渡豪/オーストラリア卓球協会訪問(5月8日～9日)
	日本卓球株式会社(Nittaku)訪問(5月10日)
	西村卓二元アテネオリンピック女子卓球監督訪問(5月10日)
	オーストラリア卓球協会要望に対する回答送付
7月26日	オーストラリア卓球協会から回答書を受取

オリンピックの見どころとは 卓球元日本代表監督 西村卓二氏が講演 ～議場開放講演会～

西脇市出身で東京富士大学卓球部の西村卓二監督をお迎えし、東京オリンピック・パラリンピックのポイントや日本卓球界についてお話いただきました。講演会で西村監督は、「毎日1mmの成長でよい」「小を軽視すると大を失う」という卓球を指導する上で大切にされている語録を披露。また、東京五輪や卓球をきっかけにオーストラリアとさまざまな分野で交流し、次世代を担う子どもたちに「プラス」になるような市を目指してほしいと話されました。

西村監督からは著書「指導者バカ」など3冊の本を寄贈いただき、図書館で貸し出ししています。

